

おわりに

次世代の主役となる若者の皆さんに期待すること

社会保障や労働施策の役割やそれを知ることの意義について、理解していただきましたか？

この白書を読んでくださった皆さんに期待することがあります。

「社会保障や労働施策について、自分事として考えてほしい。」ということです。

具体的には、以下の2点です。

1. 将来、何か生活していく上で困ったことがあったとき、利用できる制度があること、相談できる場所があることをしっかり覚えておいてください。そして、相談することをためらわないでください。困ったことがあったときに一人で解決する必要はありません。
2. 自分の周りに困っている人がいないか、気にしてみてください。これは今からでもお願いしたいことです。クラスメート、近所の人、自分の家族も含め、あなたに関わっている人はたくさんいると思います。困っている人がいても、あなた自身が一人の力で解決する必要はありません。話を聞いてあげたり、利用できる制度があることや、相談できる場所があることをさりげなく教えてあげたりするだけでも救われる人がいるはずです。

この厚生労働白書が、皆さんの将来に少しでも役立つものになっていることを願っています。

若者以外の皆さんにお願いしたいこと

今回の厚生労働白書は、若者が、今後生きていくために必要になるだろう社会保障や労働施策について、興味を持つきっかけや知る一助になればと思い、作成しました。

ぜひ、皆さんの周囲にいる若者や、若者と接する機会の多い学校の先生方などに向けて、本白書の存在をお知らせいただけると幸いです。例えば、学校の先生におかれては、「はじめに」に記載の読み方ガイドを参考に、本白書の必要な部分を授業でご利用いただくことができます。また、本白書で紹介した様々な教材についても、授業で自由にご活用いただくことができます。

また、厚生労働省ホームページには、第1章を中心にわかりやすくまとめた「別冊版」を掲載することとしています。誰でも自由に、そのまま利用することができますので、ぜひ、様々な場面でご活用ください。

(URL：https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/)

ホーム > 統計情報・白書 > 白書、年次報告書

